

神奈川県との連携による 高齢者に優しいまちの国際展開

神奈川県立保健福祉大学
イノベーション政策研究センター

熊澤 大輔

神奈川県立保健福祉大学 (ヘルスイノベーション研究科) (イノベーション政策研究センター)

●ヘルスイノベーション研究科

- School of Health Innovation (SHI)
- 「未病」を研究対象として世界に先駆けて学問体系化を目指す、研究・教育機関

●イノベーション政策研究センター

- Center for Innovation Policy (CIP)
- SHIの教育研究の取組を活かし、政策立案の支援や学術研究・社会実装の推進に対応するためのシンクタンク



2月27日(金)

シンポジウム 17:30~

情報交換会 20:00~

ライフイノベーションセンター

2月28日(土)

シンポジウム 9:00~

神奈川県立保健福祉大学
川崎キャンパス

ヘルスイノベーション・カンファレンス
殿町2026

健康な高齢化の実現によるウェルビーイング社会に向けたデータとデザインの力



カンファレンスに参加する

2/27 17:30-, 2/28 9:00-

多彩なシンポジウムに参加して、ヘルスケア領域の最新の知見・情報に触れたり、オープン・イノベーションの促進に向けた議論に加わってください。



カンファレンスで発表する

2/28 9:00-

殿町地区で活動される企業・団体等の活動報告や研究成果に関するポスター展示を行います。ぜひ、皆様方の日頃の活動や成果をご共有ください。



情報交換会に参加する

2/27 20:00-

様々なプレイヤーの交流を深めるための情報交換会の開催を予定しています。併せてご参加ください。



最新情報、プログラムの詳細・スケジュール
参加・発表のお申込はカンファレンスのウェブサイトから

<https://hict2026.cip-kuhs.jp/>



School of
Health
Innovation

主催 神奈川県立保健福祉大学
イノベーション政策研究センター・大学院ヘルスイノベーション研究科

後援 神奈川県、川崎市



SHI/CIPの取組を発信します！
<https://hict2026.cip-kuhs.jp/>

WHO協力センター(WHOCC)として

- ヘルスイノベーション研究科はWHO協力センター※に指定(2025年3月26日)
- WHO Collaborating Centre for Innovations in Healthy Ageing (健康な高齢化のイノベーションに関するWHO協力センター)

Kanagawa University of Human Services



※WHOの活動を支援する機関として
WHO事務局長から指定

WHOCCとしての本学の役割

- 活動内容(Terms of Reference)

1. 政策研究(Research)

エイジフレンドリーシティ(「高齢者に優しいまち」づくり)の取組をはじめとした健康な高齢化に関する政策研究・学術論文の作成

2. 人材育成(Training and Education)

セミナーの開催やアントレプレナーシップ(起業家精神)教育の実践等により各国・各地域で健康な高齢化を担うリーダーの育成

3. 普及啓発(Information Dissemination)

神奈川県内における健康な高齢化に関する取組成果の国際的な共有

神奈川県との協働

- 神奈川県ではエイジフレンドリーシティ情報発信事業を実施
- 県内のエイジフレンドリーシティ参加自治体(22市町)の取組の紹介
- 3市町における深掘り調査
 - 小田原市…UDCOD (Urban Design Center ODawara)
 - 秦野市…移動・買い物支援
 - 葉山町…貯筋運動

小田原市の取組

- アーバンデザインセンター小田原(UDCOD)による取組
- 小田原市豊川地区における地域住民自身の居場所づくり、社会参加の促進
- これまでの取組
 - 2023年度…ワークショップ開催
 - 2024年度…セミナー開催、お散歩マップづくり
 - 2025年度…お散歩マップ活用、地域活動への深化
 - UDCOD: 2023年3月設立、東海大学教員がディレクター、小田原市都市政策課に事務局



秦野市の取組

●市内複数の移動・買い物支援

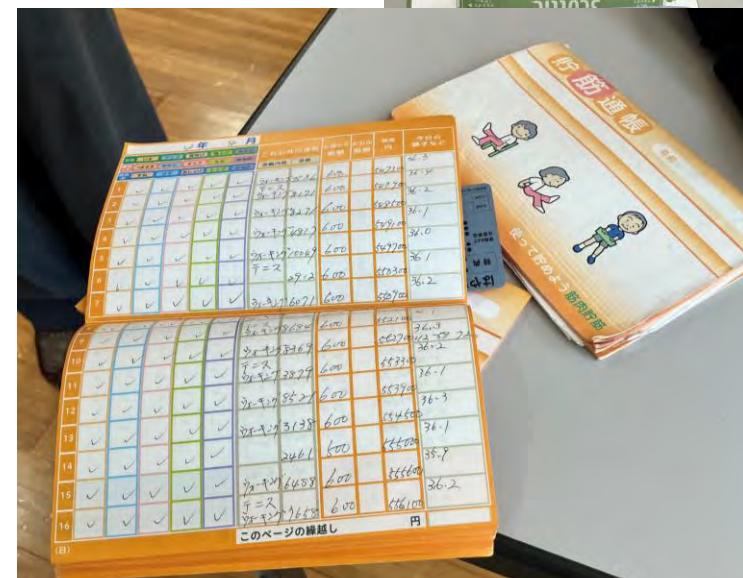
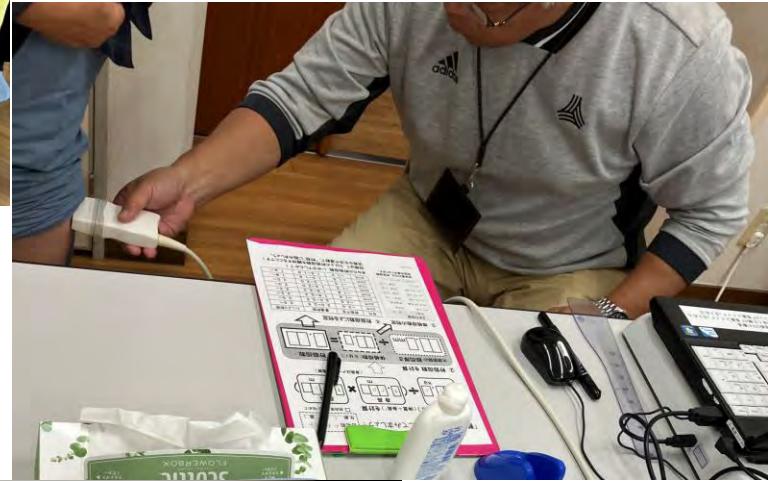
- 自治会レベルの小さな単位から、中学校圏域に及ぶ範囲を対象とする団体など多様な移動支援
- いざれもボランティアによる運行
- 住民ニーズに合わせ、運行方法もそれぞれ
 - ✓起点は自宅or集合場所
 - ✓利用料の有無



葉山町の取組

●貯筋運動

- 高齢者の筋肉量低下防止
- 各地の住民グループが貯筋運動の教室を定期的に開催
- 町が各団体に年2回指導者を派遣し、正しい動作の確認と筋圧の測定
- 参加者は貯筋運動の教室や自宅で運動する度に、「貯筋通帳」に記録



県内AFCCの取組に基づく国際展開へ

- 22市町の取り組みの横展開に向けた政策研究と普及啓発
 - 顕著な取り組みを実践紹介として学術発信
 - 取り組みの深掘りとして、市町との連携による量的調査の検討
 - AFCCの指標(WHO, 2015)などを参照し、分析の試行
- 西太平洋地域(WPRO)をはじめとした各国のAFCC推進の参考事例として発信